

「ほっとルーム」だより



第134号 令和元年10月1日発行
いちき串木野市家庭教育支援連絡協議会
(教育委員会 社会教育課内 Tel 21-5130)

生福小・市来小で「おあしす」を開設しました。

9月24日(火)は生福保育所、10月29日(火)は、
羽島保育園で「おあしす」を開設します。



9月10日(火)に生福小で、9月13日(金)に市来小学校で、家庭教育学級終了後、「おあしす」を開設しました。子どもさんの成長の様子や頑張り、子どもさんへの声掛けや接し方等について語り合いました。

9月24日(火)に生福保育所で、10月29日(火)は、羽島保育園で「おあしす」を開設します。お茶を飲みながら語りましょう。お気軽にお立ち寄りください。



生福小「おあしす」



市来小「おあしす」

羽島保育園

○日時 **10月29日(火)**
(午後2時～3時)
○場所 ランチルーム



アンケートへのご協力をお願いします



家庭教育や子育て支援について、保護者の皆様のお考えやご意見をお伺いし、家庭教育を支えていく体制作りをより効果的にするために、アンケートを実施します。

昨年度から1回だけの実施になりましたので、貴重なご意見をお待ちしております。ご多用な時とは存じますが、ご協力をよろしくお願いいたします。

子育ての中で、気になること等があったら、一人で悩まず、いつでも気軽に、ご相談ください。一緒に語りましょう。

ほっとルーム： 教育委員会 社会教育課内
TEL:21-5130 FAX:36-5044

※ ご希望があれば、長子に限らず、**どの学年でも**訪問いたします。

県の相談機関

かごしま教育ホットライン24
TEL:0120-783-574 (携帯電話はつながりません)
TEL:099-294-2200





(水陸両用船)

子ども達に、物作りの楽しさを、味わわせよう！

～ 生福地区まちづくり協議会女性部会～

生福地区では、8月25日(日)、母親セミナーの一環として、生福交流センターで、「キッズ・チャレンジ教室」を開催しました。今年で9年目になります。

本年度は、「小物入れ・ティッシュケース」組と「水陸両用船」組に分かれて、子ども達に物作りの楽しさを味わわせたいという願いをもって計画されています。「小物入れ・ティッシュケース」は、女性部の石野さん、「水陸両用船」は、永井さんの指導で行われました。

子ども達は、小さな部品をなくさないように慎重に置いたり、のりやグリスを丁寧に塗ったりして、女性部員や保護者の支援を受けながら、仕上げていきました。出来上がった作品は、夏休みの宿題として提出されるようです。



小物作り



水陸両用船作り

参加した子どもの声

○ 難しいけど作るのがとても楽しいです。

参加した保護者の声

○ 子どもと一緒に楽しんでいます。

○ 生福女性部の方々が中心になって、子どもたちのために、続けていらっしゃって有り難いです。普段できない工作をして親子でためになります。



(ティッシュケース)

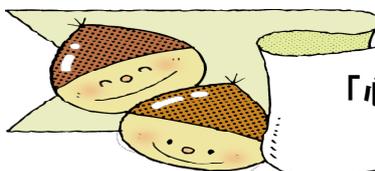
「健康は腸から！」～ 串木野小家庭教育学級～

串木野小学校家庭教育学級「おひさま学級」は、9月5日(木)、川内ヤクルト販売株式会社の小玉知子先生を講師にお招きし「健康は腸から～いいウンチを作ろう～」をテーマに、「食育」と対比して、「ウンチ育」を学習しました。「便所」は大腸からの大事な「お便り所」として、理想のウンチの色や量、良いウンチの為の食事(ま・ご・に・や・さ・し・い・わ)や、小腸の長さや大腸の面積等を知り、「腸トレ体操」もしました。そして、「朝ご飯は脳のガソリン」と、朝ご飯の大切さもお話されました。



学級生の声

⇒ ○ 日頃、気になっていることで、とても分かりやすく話してくださって、勉強になりました。今後、食事のバランスに気をつけたいと思います。



子どもの話をたくさん聴いてあげることは、「心を抱きしめること」です。

(神田淳子先生のお話から)

- 子どもの話をたくさん聴いてあげることは、
「心を抱きしめること」です。
- 頑張っている自分を認めましょう。
自分を認め、許し(赦し)、受け入れる人ほど、
他者(自分以外の人)を深く愛することができます。
- 自分のあら探しをやめましょう。
他人と比べるのを、やめましょ。う。
小さな自分の長所を、探しましょう。
小さな長所を愛するところから、
自分を好きになる第一歩が始まります。